

鬼首地熱発電所 環境監視結果（2025年度）

「鬼首地熱発電所設備更新計画 環境影響評価書」に基づき実施した、2025年度の環境監視（発電所運転中）の結果は、以下の通りです。

- 大気環境（硫化水素測定結果）
発電所構内6箇所（5回/年）の硫化水素測定に顕著な変動はなく、大気環境への影響は認められませんでした。
- 水環境（温泉：温度、湧出量、泉質）
周辺温泉3地点の温度、湧出量及び泉質について、大きな変化は認められませんでした。
- 動物（重要な種及び注目すべき生息地：クマタカの生息・繁殖）
クマタカの営巣期（令和7年1月～7月）の定点観察調査において、忌避行動等の発電所運転の影響が疑われる行動は認められませんでした。
定点観察では、飛翔を計36回確認し、2つがいの生息を確認しました。
いずれのつがいについても発電所近隣の発電所側の斜面に位置する樹木には営巣は確認されませんでした。
- 景観（景観資源の状況）
景観資源の片山地獄及びその周辺において定点の写真撮影を行い、景観上の変化は認められませんでした。
- 産業廃棄物
発電所運転に伴う産業廃棄物は、廃プラスチック類等が約2トン発生し、そのうち1トン未満を有効利用、約2トンを処分しました。

以 上